

美しく豊かなまちづくりへ 多様な担い手の参画を 参院国交委で足立参院議員

自民党の足立敏之参院議員は25日、参院国土交通委員会で質問に立ち、民間活力を活用した魅力的な都市空間の形成について国土交通省の見解をたずねた。都市公園や緑地の設置、保全、管理には幅広い担い手の参画が大事だと主張。緑とオープンスペースの質を高め、水辺空間も活用しながら、美しく豊かなまちづくりを進めるよう訴えた。



魅力ある都市空間の形成などを質問する足立氏―25日、参院国交委で

足立氏は今後の公園を考

える上で、「既存の公園の再構築」と「まちの顔となる公園の個性の創出」の2点をポイントに挙げた。地方自治体も含め財政的制約がある中、民間など多様な担い手に参画してもらう仕組みについて質問。国交省の栗田卓也都市局長は、国会で提出されている都市公園法改正案で新たに設ける民間事業者の公募選定制度を通じて、「民間活力により都市公園の魅力を高める」と答弁した。

足立氏は、緑の分野で専門的技術を持つ造園業界について、「緑地保全・緑化推進の担い手であり、災害時には地域の守り手として活躍してほしい」と主張。栗田都市局長は「豊かな実績を持つ多く

の造園会社に緑地保全・緑化推進法人の位置付けを得て、緑地の保全・緑化の推進の担い手として今後ますます活躍してほしい」と答えた。

足立氏は、河川や水辺を活用してまちに新たなにぎわいを創出する「ミズベリング」や「かわまちづくり」といった水辺空間に関する取り組みの重要性も指摘。国交省の山田邦博水管理・国土保全局長は、川の魅力を活用して地域を活性化させる取り組みが全国各地で進められており、引き続き支援していくと応じた。

石井啓一国交相からは、「地域の魅力向上につながる取り組みを通じて、水辺空間を含め、美しく緑豊かな都市空間の形成に全力で取り組む」との答弁を引き出した。

